2023→2024 宮崎大学教育学部附属中学校 キャリア教育（将来への準備教育） 全体計画

学校経営ヴィジョン

学び合いのなかで
<真理を探究し、勤労を愛する、気品のある生徒>の育成を目指し、
<北斗のように県内外で活躍できる社会性を育てる学校>を創造する。

常に高く、北斗のように…
キャリア教育を通して育てたい
7つの資質・能力

7つの力 ／ 生徒が力を発揮したときに期待したい行動

おもしろがって こだわりもって やりぬく力

★探究をおもしろがる★
自分で見つけた「正解のない問題」に自分なりの答えを出していく。そして、そのくりかえしをおもしろがる。

★仕事にこだわる★
自分の仕事に創意工夫を加えることによって、今ある仕事を「自分にしかできない仕事」に育てていく。

★命を守りぬく★
登下校中のルールを守ること、感染症にかからない・うつさないための行動をとることを通して自他の命を守りぬく。

未来のことを 目的のことを みとおす力

★未来をみつめる★
「将来やりたいことは何か」「卒業したらどうしたいのか」等、ひとまずの答えを自分で出してみる。

★目的をセットする★
「この活動は何のためにやるのか」を考え、自分自身でよりよい目的を設定した上で活動に取り組んでいく。

★手帳を使いこなす★
Hokuto plannerや自分で選んだ手帳を生活のなかで活用し、見通しを立てたり、生活を調整したりする。

自分を見つめて 成長をためこむ ふりかえる力

★私流にふりかえる★
様々なふりかえりの方法を試したり、開発したりしながら、自分に合った方法を編み出し、活用していく。

★成長をファイルする★
3か月に1回を目安に自分の手元にある情報を整理して、自分が成長した証として残すべきものを選択する。

★自分で調整する★
自分の現状をメタ認知しながら、自分に合った学び方を試行錯誤するとともに、学ぶべき理由をハッキリさせる。

考え方を学び 自分と社会に やくだてる力

★視点を知る★
授業で学習した視点を使うことで、自分がどのように変化したのかを、自分の言葉で説明してみる。

★視点を発明する★
自分で言葉をつくったり組み合わせたりして視点を発明し、まわりの人に紹介し、そのおもしろさや有効性を伝える。

★視点を役立てる★
総合的な学習の時間のなかで、様々な教科で学んだ視点を持ち出し、組み合わせながら探究活動に取り組む。

出会いを大事に 協働することから つくりだす力

★出会いを増やす★
学校内外にいる素敵な大人に、自分から積極的に会いに行き、たくさんの刺激を学びを手に入れる。

★すごいメモをとる★
いろんな場面で積極的にメモをとったり、メモの取り方自体を探究し、自分に合ったメモの取り方を編み出す。

★議論に参画する★
ペアやグループ、教室全体での議論に参画し、議論することの良さを実感したり、アイデアを生み出したりする。

人権を守り合って 困り事を見つける ともにある力

★人権を守りあう★
お互いがいい気持ちになることのできる言葉や行動をお互いに増やしていくことで、お互いの人権を守りあう。

★ファミリーになる★
先輩（後輩）と一緒に活動したり、E級の教室に遊びに行ったりして、多様な人間関係からの学びを手に入れる。

★「困った」を見つける★
仲間が困っていることを、仲間よりも先に見つけて、一緒に解決策を考えたり、解決策を提案したりする。

気品を保って 学校を背負う こたえる力

★気品を保つ★
自分の身だしなみや言葉づかい、ふるまいが相手を不快にさせないものかを確認しながら生活する。

★期待に応える★
リーダーとして、あるいはフォロワーとして期待されていることを読み取り、それに応える行動を増やしていく。

★宮附を背負う★
自分の身だしなみや言葉づかい、ふるまいが「宮大附属中」を象徴しているという自覚をもって行動する。

私たち教師の約束

探究人になる

教師自身がテーマをもって探究する。ときには自分の探究について生徒に語ったり、生徒に交じって発表したりする。

逆算して語る

明日のこと、来週のこと、来月のこと、来年のこと、将来のこと……。いつでも未来から逆算して生徒に語る。

想定を超える

生徒たちの体験について、生徒たちの想定を超えるような意味づけを行い、体験からの学びをより豊かにする。

同僚を語る

同僚が授業で教えている視点について、自分の授業で語ってみたり、自分の授業に同僚を招いてみたりする。

伴走者になる

生徒たちとともに創造に向かい、現状を批判し、未来を創造していく活動に一緒になって取り組んでいく。

意識高い系になる

生徒たちの困っていることを、生徒たちよりも先に言語化し、一緒に考えたり、解決策を提案したりする。

気品をふるまう

「気品ある大人って、うちの先生たちのことだよね」と思ってもらえるように、たくさんの気品をふるまっていく。

7つの特色あるアクション

自分をつくり 社会に参画する 探究学習

<君たちは宮崎のためにどう生きるか>をコンセプトに、学びの集大成の場とする。

仕事を探究していくことを通して、自己の創造と社会参画を重ね合わせて探究できるようにする。

見方・考え方を 働かせて学ぶ 教科教育

各教科の見方・考え方を働かせながら、粘り強く考え抜くことができるようにする。

各教科の見方・考え方を可視化し、教師間／教師・生徒間／生徒間で共有できるようにする。

多様な他者との 共生を探る 人権教育

マイノリティの視点に立ちながら、多様な他者との共生の在り方を探究できるようにする。

道徳的な問題に対して、当事者性をもって（自分事として）考えたり、対話したりすることができるようにする。

多様な他者との 協働を探る 交流活動

特別支援学級と通常学級の交流活動を通して、協働の在り方を探究できるようにする。

異学年集団による活動を通して、先輩や後輩、リーダーやフォロワーとしての在り方を探究できるようにする。

見通しと振り返り で学びを生み出す 学校行事

学校行事の目的や目標の実現に向けて、見通しをもって取り組めるようにする。

振り返り活動を通して、学校行事での体験を生徒それぞれが意義づけ、学びを得られるようにする。

輝く未来への パスポートをつくる 学級活動

自分の成長の証となるポートフォリオをもとに、キャリアを探究できるようにする。

委員会活動を中核とした集団づくりに、他者と協働しながら参画することができるようにする。

自分に問いかけ 自分でこたえる 日常生活

自分自身に問いかけ、自分でこたえることで、適切な行動を選択できるようにする。

様々な状況において自分に求められていること・期待されていることを読み取り、行動できるようにする。

3つの根

<計画的偶発性>を視野に入れる

たまたまめぐりあった人や情報、学びが、自分の人生を大きく変える幸運（ラッキー）へと変わる。あらゆる教育資源を最大限に活用し、幸運（ラッキー）を呼び込もうとする構えを求めよう。

<ナスビの売り方>を問い続けよう

学校生活のなかで学ぶ「生きるほうほう」を<ナスビの売り方>と呼ぼう。様々な教育活動において、「生徒たちはどのような<ナスビの売り方>を学び得るか」を常に問い、考え、実践し続けよう。

<モチベーション3．0>を求め続けよう

「評価されるからやる」という<モチベーション2.0>を認めつつ、「もっと学びたいからやる」「成長したいからやる」という自発的・内発的な動機<モチベーション3.0>を求めていこう。